

2020 年度

授業概要

科目名	精神障害治療学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	前期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
本講座は、精神障害作業療法に関する治療構造（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）を学習する。また、精神障害のある当事者が地域で自尊心を回復して、「その人らしく生きてゆく」リカバリー概念を学ぶ。さらに、精神障害作業療法に関連の深い治療理論・アプローチに触れることを目的として授業を行う。							
〔授業全体の内容の概要〕							
精神障害作業療法の治療構造、リカバリー論、OTに関連する理論・アプローチなど							
〔講師の実務経験〕							
「2007年4月～2011年3月末まで精神一般病棟、精神療養病棟、精神科デイケア（大規模なもの）を併設した病院に所属する。主な業務は精神科作業療法、認知行動療法を実施していた。2012年～2014年に放課後デイ施設に勤務（非常勤）。知的障害、発達障害、ダウン症児のリハビリに従事した。2015年～2017年に精神一般病棟、アルコール依存症治療病棟、児童思春期病棟を併設し							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害作業療法の治療構造を大まかにでも説明することができる。 ・病気・障害を持って、その人らしく希望をもって回復に向けて努力することの意味（リカバリー）について、大まかにでも説明することができる。 							
回数	講義内容						
1	精神障害作業療法の構造①（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）						
2	精神障害作業療法の構造②（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）						
3	精神障害作業療法の構造③（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）						
4	精神障害作業療法の構造④（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）						
5	リカバリー論～心に障害を受けながら、その人らしく回復していくことの意味～						
6	リカバリー論（演習）～心に障害を受けながら、その人らしく回復していくことの意味～						
7	作業療法に関連する治療理論・アプローチ①（演習）						
8	作業療法に関連する治療理論・アプローチ②（演習）						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
生活を支援する精神障害作業療法	香山明美	三輪書店

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記テスト、レポート
